

2025年
(令和7年)
2月4日

(第三種郵便物認可)
昭和23年4月15日
毎月3回発行
(第1、第2、第3火曜日)

今号の特集

▷調味料特集 ⑥～⑦面
▷マヨネーズ特集 ⑧面

中部飲食料新聞社ホームページ
<http://chuin.net/>【業界情報発信中】

第3533号

発行所
中部飲食料新聞社
名古屋市中村区名駅5-18-9
電話(052)571-7116代表
FAX(052)571-7118

東京局

東京都中央区日本橋横山町1-4 203
電話(03)5614-7531
FAX(03)5614-7532

中部 大正から
食を伝えて100有余年
飲食料新聞



三菱食品

PALTTACCと連携

業界の垣根を越えて効率化

三菱食品は、(株)PALTTACCと持続可能な物流構築及び両社の物流事業の一層の拡大を目的とした連携・協働に向けた基本合意を締結した。

三菱食品は食品業界の中間流通のリーディングカンパニーとして高い存在感を發揮。PALTTACCは化粧品・日用品、一般医薬品業界の中間流通のリーディングカンパニーとして事業を展開している。業界は異なるものの、ドラッグストアやコンビニエンスストア、スーパーマーケットなどの小売業との間で商流・物流を担い、全国規模で事業を展開していることから、同一の販売先も多く存在している。しかしこれまで「食品」と「日用品等」では異なるサブ



どおりの方法では全国の物流網の維持が困難な状況となっている。今回、三菱食品とPALTTACCは業界の垣根を越えてともに連携・協働し物流の効率化を目指すことが、国内物流業界の持続可能性を高める一助となると共通の認識を得た。今後、環境変化に対応できる持続可能な物流の構築・実現のため、両社の物流資産やノウハウなどの相互活用について両社が具体的に協議・検討する。

両社が運営する既存物流拠点(三菱食品376拠点、PALTTACC23拠点)の有

サントリー「サン生」好調

25年も様々な施策を展開



サントリーは、好調な販売を示す「サン生」のCM投下を25年連続で展開している。25年連続で展開している「サン生」のCM投下は、好調な販売を示している。25年連続で展開している「サン生」のCM投下は、好調な販売を示している。

「サン生」のCM投下は、好調な販売を示している。25年連続で展開している「サン生」のCM投下は、好調な販売を示している。

「サン生」のCM投下は、好調な販売を示している。25年連続で展開している「サン生」のCM投下は、好調な販売を示している。

「サン生」のCM投下は、好調な販売を示している。25年連続で展開している「サン生」のCM投下は、好調な販売を示している。

「サン生」のCM投下は、好調な販売を示している。25年連続で展開している「サン生」のCM投下は、好調な販売を示している。

「サン生」のCM投下は、好調な販売を示している。25年連続で展開している「サン生」のCM投下は、好調な販売を示している。

「サン生」のCM投下は、好調な販売を示している。25年連続で展開している「サン生」のCM投下は、好調な販売を示している。

「サン生」のCM投下は、好調な販売を示している。25年連続で展開している「サン生」のCM投下は、好調な販売を示している。

「サン生」のCM投下は、好調な販売を示している。25年連続で展開している「サン生」のCM投下は、好調な販売を示している。

カゴメは、甘さを究めた旬のりんごを100%使用した「カゴメにんじゅ」を使用。製造面では、に

カゴメは、甘さを究めた旬のりんごを100%使用した「カゴメにんじゅ」を使用。製造面では、に

カゴメは、甘さを究めた旬のりんごを100%使用した「カゴメにんじゅ」を使用。製造面では、に

カゴメは、甘さを究めた旬のりんごを100%使用した「カゴメにんじゅ」を使用。製造面では、に

カゴメは、甘さを究めた旬のりんごを100%使用した「カゴメにんじゅ」を使用。製造面では、に

カゴメは、甘さを究めた旬のりんごを100%使用した「カゴメにんじゅ」を使用。製造面では、に

カゴメは、甘さを究めた旬のりんごを100%使用した「カゴメにんじゅ」を使用。製造面では、に

カゴメは、甘さを究めた旬のりんごを100%使用した「カゴメにんじゅ」を使用。製造面では、に

「カゴメにんじゅ」は、甘さを究めた旬のりんごを100%使用した「カゴメにんじゅ」を使用。製造面では、に

「カゴメにんじゅ」は、甘さを究めた旬のりんごを100%使用した「カゴメにんじゅ」を使用。製造面では、に

「カゴメにんじゅ」は、甘さを究めた旬のりんごを100%使用した「カゴメにんじゅ」を使用。製造面では、に

「カゴメにんじゅ」は、甘さを究めた旬のりんごを100%使用した「カゴメにんじゅ」を使用。製造面では、に

「カゴメにんじゅ」は、甘さを究めた旬のりんごを100%使用した「カゴメにんじゅ」を使用。製造面では、に

「カゴメにんじゅ」は、甘さを究めた旬のりんごを100%使用した「カゴメにんじゅ」を使用。製造面では、に

「カゴメにんじゅ」は、甘さを究めた旬のりんごを100%使用した「カゴメにんじゅ」を使用。製造面では、に

拠点の空きキャパシティの有効活用▽②共同配送(配送車両の空積み・空車の共同配送による配送効率化)▽③共同物流センターの検討(新しいサプライチェーンモデルや物流DXの実現に向けて双方が人材を投入しチャレンジする。

「対象分野」▽①既存物流拠点の活用(両社既存

は、驚きの甘さとにんじゅの魅力を伝えるため消費者とのコミュニケーション活動をさらに強化。カゴメ社員による店頭試飲活動や原料である国産にんじゅの配布を全国に広げ、実施店舗数も増やした。店頭での盛り上げを図る。さらに、商品の魅力を伝えるブランドサイトも制作し、情報発信を強化。「カゴメにんじゅ」の魅力と旬の価値をさらに広く伝えていく。

同様に製造する「カゴメ那須工場」は、良質な豊富な水源地の自然豊かな栃木県那須塩原市に位置するカゴメ最大の生産拠点。見学通路がリニューアルされ、より楽しく製造過程を見ることができるようになる。また「常温無菌充填システム」の活用により、にんじゅ100%のPETボトルタイプの製品化も実現した。「原料は旬の甘さが際立つ国産冬にんじゅを使用し、雑味の少ない製法、レモンの添加による感動的な甘さなどが特徴。昨年行った消費者調査では「圧倒的な感動的な甘み」への評価が得られた。また「にんじゅ」だけでなく、お菓子や飲料企画部畑迫重季氏。

日東ベストの代表取締役社長執行役員に、嵯峨秀夫氏(現取締役常務執行役員)が6月下旬の定時株主総会の承認を経て就任する。現代取締役社長執行役員は塚田一郎氏。現代取締役会長は

日東ベストの代表取締役社長執行役員に、嵯峨秀夫氏(現取締役常務執行役員)が6月下旬の定時株主総会の承認を経て就任する。現代取締役社長執行役員は塚田一郎氏。現代取締役会長は

日東ベストの代表取締役社長執行役員に、嵯峨秀夫氏(現取締役常務執行役員)が6月下旬の定時株主総会の承認を経て就任する。現代取締役社長執行役員は塚田一郎氏。現代取締役会長は

静岡から日本中をおいしくする会社



1956年日本で初めて瓶詰めマヨネーズをチューブ容器に変えたお客さまの利便性を考え続ける会社です。

エスエスケイフーズ 検索

<https://www.sskfoods.co.jp/>

